リュウマのガゴウ
THE PSEUDONYM OF RYUMA
1
HIROKI MIYASHITA
宮下裕樹
YOUNG KING COMICS

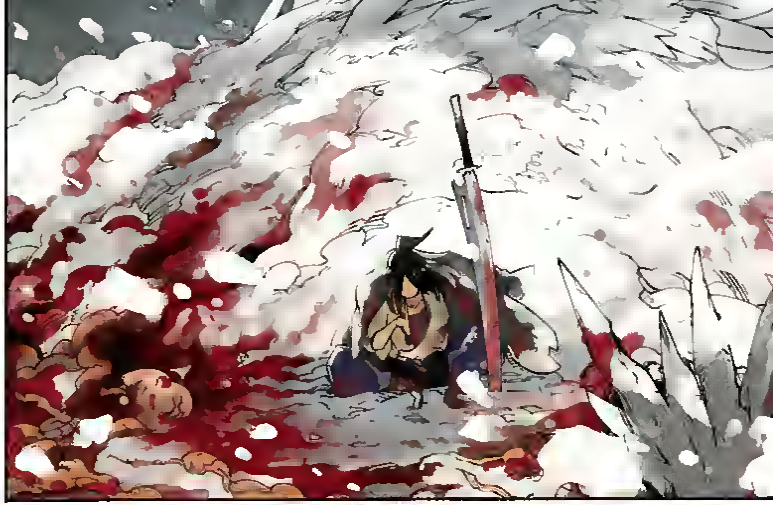
行くな!!
お前まで死ぬぞ!!
巻頭カラー
新連載開始
ふざけんな!!
置き去りになんてできるか!!
誰のおかげでこのキャラバンが
助かったと思ってんだ!
だってそうだろあの人は
そうだ彼のギセイを無駄にするなと
ギセイになんかなっちゃない!!
あの人はあの…

リュウマ
なんだから

[第1話]

このバカみたいな吹雪
いささかアレに近すぎる…か…
それとも貴様の仕業か…
はたまた
その両方か…
ったく余所見とか…
傷ついちまうよなぁ…プライドが…
なあ？物欲し竿んな奴ぁ無理矢理にでも振り向かせたくなるよな
でなきゃ

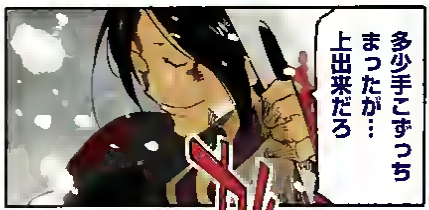
このリュウマの名が廃る!!
ドドドドドドドド
ゴオオオ



ボウズ
よう

すげぇ
ははは
あんたは

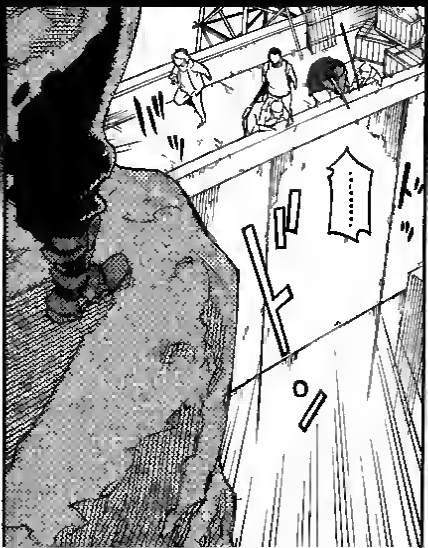
すげぇ…これ
本当にあんたが
本物だよ…
本物の
リュウマだよ


多少手こずっちまったが…
上出来だろ

!
頼む……
ちょっと
調子にのりすぎ
ちまったな
ぐ
ん
な!?
この傷だ…
もう助からない
…っと
その前に
すこし昔話を
させてくれ
…そんな…
やめて
くれよ
ほんの
少し
オレの…
話を……
あれは…
そう…

とある辺境の
山岳地帯の街
今の世の全ての街が
そうであるように

その街も
横並びになった
食物連鎖の中
おびえ隠れながら
生きていた


……
ドッ
ドッ

その一帯の
生態系の
上位種は
蟲(むし)の形を
していた

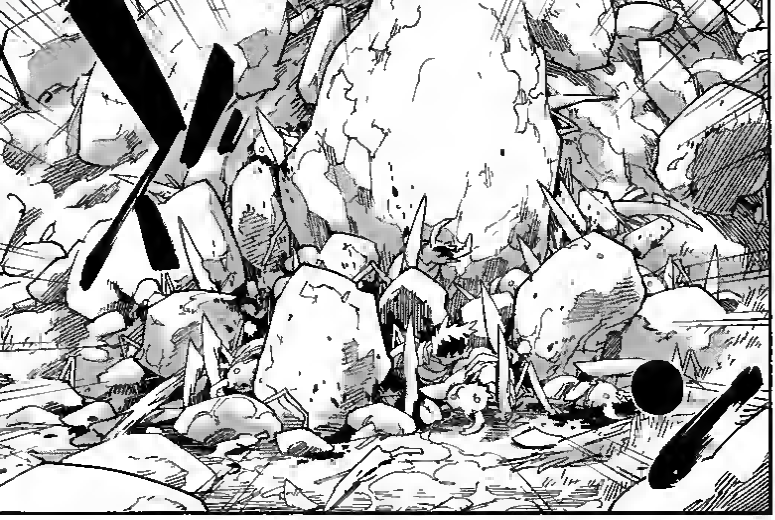
それに
この人達の
物資がなきゃ
オレ達だって

このドアホが
なんでんな行商を
助けに行き
やがった!!
うるせえ!!
見殺しになんて
出来るか!!

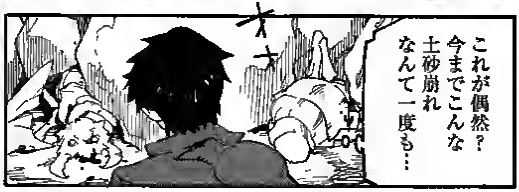
その荷も
蟲共の中
だろうが!!
だから
謝ってん
だろ!!

この場所を
知られた以上
一匹たりとも
逃がすワケには
行かねぇ
ああ!!
そのつもり
だよ!!
ガッ

ふう
バカが!!
こっちも被害が
出まくりだよ!!
おい!ちゃんと
盗の数
確認しろよ!!
まぁまずは
荷台の
チェックを
おう
おう
そうだ!!
オレが一番だぞ
っと この程度の
数だったか?
襲われた時は
もっと…
まずいな
まさか
逃げられた?
!



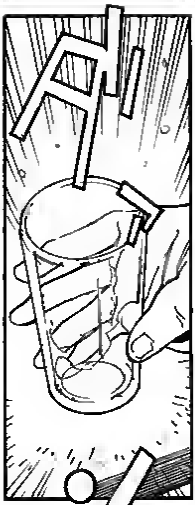
なっ…
なんだよ これ 土砂崩れ？ うまい具合に 巻き込まれて やがる
助かったな こいつらに 逃げられ なくて


これが偶然？ 今までこんな 土砂崩れ なんて一度も…

蟲の何匹かは 見事な太刀筋で 仕留められてる
誰が……
ん？

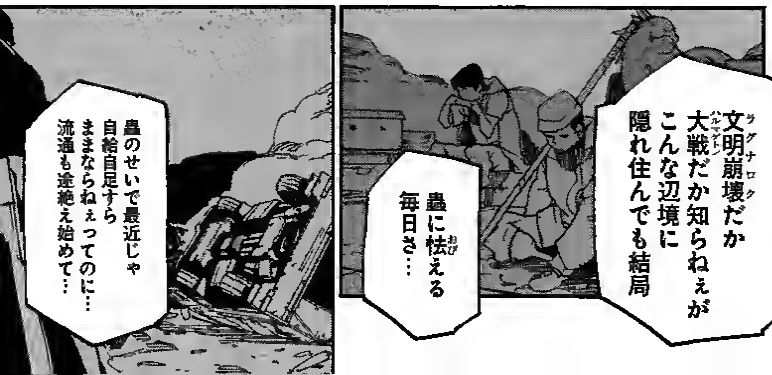
あの…

なんだこのマヌケは？
行商の連れか？
いや 違うみたいだな
……盗人か？



うまいねぇ
この酒……
悪いね
盗人扱いしちまって
これで許してくれよ
しかし
お前さんみたいな
ボウズが
マスターとはね
親の形見
みたいな
もんでね…
つっても…物資が
ねぇもんだから
ごらんの通り
だけどね…

増えて
いくのは
墓標だけ


文明崩壊(ラグナロク)だか
大戦(ハルマゲド)だか知らねぇが
こんな辺境に
隠れ住んでも結局
蟲に怯(おび)える
毎日さ…
蟲のせいで最近じゃ
自給自足すら
ままならねぇってのに…
流通も途絶え始めて…

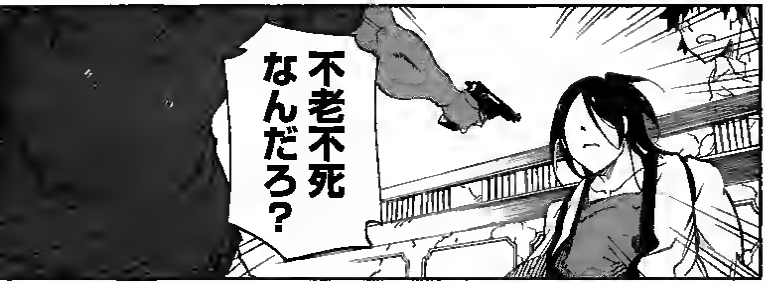
どうにも
ならねぇ
打つ手なしさ
あんた
旅してんなら
分かってんだろ
他所だって…
そんな
悪くないさ
それによ
え？
この手は
そうは
言ってねぇよう
だけど？
並の鍛え方じゃ
こうはならねぇ
と…思うぜ
まあ
ど派手すぎる
けどな その傷
下手クソ
!!

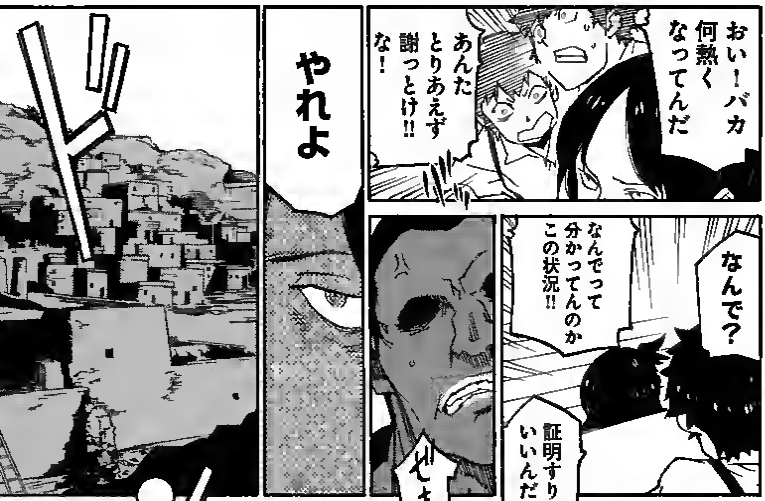
うるさい
はなせ!!
ひっひ
何様だよ
あんた!!!
それに…
その剣…
…ったく
変に目ざとい
んだな…
……
あんた
そういえば
名前きいて
なかったな!
ん?
おう!
いらっしゃ…
どうした?
深刻な顔
して…
なんだい?
まだ殴り
足りないかい?
おい
てめぇ…

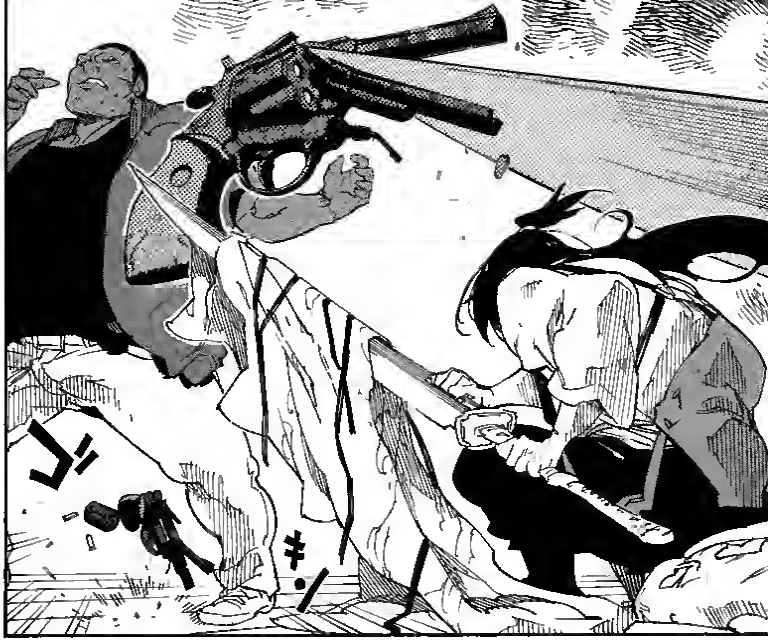
リュウマを
名乗ったらしいな
!!
リュウマ!?
この時分に
んなこと言い出す
奴はペテン師として
殺されても
文句ねぇな
何のつもりか
知らねぇが
訂正し…

それでも
オレがその
リュウマだと
言ったら

だったら
証明して
みせろ


不老不死
なんだろ?


おい!バカ
何熱く
なってんだ
あんた
とりあえず
謝っとけ!!
な!
なんで?
なんでって
分かってんのか
この状況!!
証明すりゃ
いいんだろ
ゼキ
やれよ



弾丸が
射出される
よりも速く
閃撃の
男…
なんだ
こいつ!?
ほ…
本物!?
リュウマ
この名前…

待ってくれ
あんた本当にリュウマなのか!?
あのラグナロクの
ジンの反乱の救世主なのか!?だったら…
信じようが信じまいがオレには関係ねぇ
イ…
ジャマしたな
待っ…!!
リュウマが行っちまう!!
ここから…
この街から…
とっ
どんがら

って…
なんだなんだ
お前達…
あ
そ
その
あんた!!
お代!
酒代!!
ンバッ
え?
……
おかしいだろ
これ…
ぎゅ
うううう
たしか盗人
扱いした代わりに
おごるって
話じゃ…
さあ
どうだったか…
それに
なんなんだアレ
見せ物じゃ
ねぇぞオレは
あれが
ウワサの?
見えないよ
ん——
まあ…ここ
娯楽なんて
ないから
ごらく!?
なんか
久しぶりだよ
こういうの

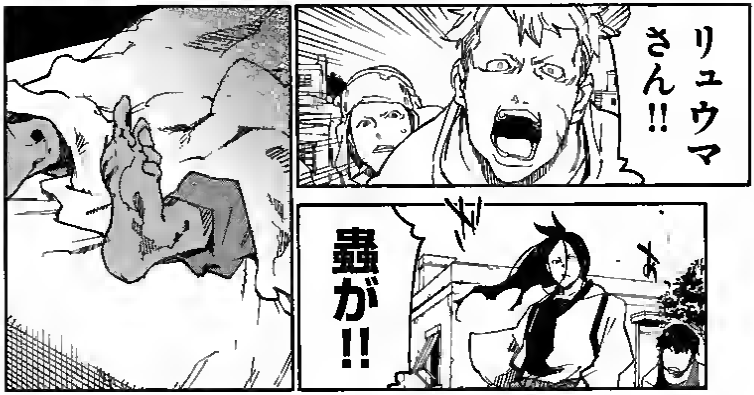
ぎゃわわ…
こんな
いい風が
吹くのは…

甘い！
混戦を想定しろ
常に周囲の状況を把握するんだ
今だ
だから想定しろって！
だっ
ぎゃはは！またリュウマに負けてらあ！
うるせぇ!!見せもんじゃねぇぞ!!
わぁ怒ったぁあ
あはは
はは
……
ったく…
しかし…ホント…

この街で
あんな風に子供が
笑うなんて
想像も
つかなかったよ
蟲への対策
生態の傾向
戦い方
新たな流通の
ルート…
あんたが
来てくれて
良かっ…
ん～ふ～
違うな
ボウズ
んだよ
おい！
これが
この街の元々の
姿なのさ
まぁ
それでも
ただちょっと
辛気くさく
考えがちに
なっただけさ
オレが何か
したって言うなら
それは

ほんの
わずかな
きっかけに
なっただけさ

ってことは
ちょいとは
オレのおかげか
ぶっ
んだよそれ
ないない！あんたの
おかげじゃない！
ひっひ

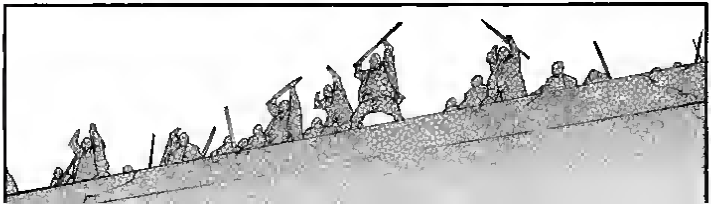

リュウマ
さん!!
蟲が!!

あんたぁ!!
あんた
こりゃ
ひでぇ…
嬲(なぶ)り
殺されてる…
にヤ
蟲に
この場所を
知られたな…
ワザと半死で
逃がされてる
分泌液がついた
まま…
そんな…
遅かれ
早かれさ
この街は蟲に
認識されはじめ
ていた
逃げ出すか
戦うか
いつかは
決めなきゃ
いけなかったのさ

オレ達には
リュウマが
いるんだ!!
そうだ!
今やるしか
おおおお
必要以上に
人々を戦に
駆り立てる
だけじゃないのか
ギィ
そう思う
時がある
逃げれば家族を
仲間を失わない
のじゃないのか
今日だけは
逃げ延びる事が
できるのではないか
ギィ
自惚(うぬぼ)れ
なくて
いいぜ…

あんたは
ほんの少し
きっかけを
造っただけ
これはオレ達の
意志だ
おお
やるぜ!!
いい答えだ
ボウズ

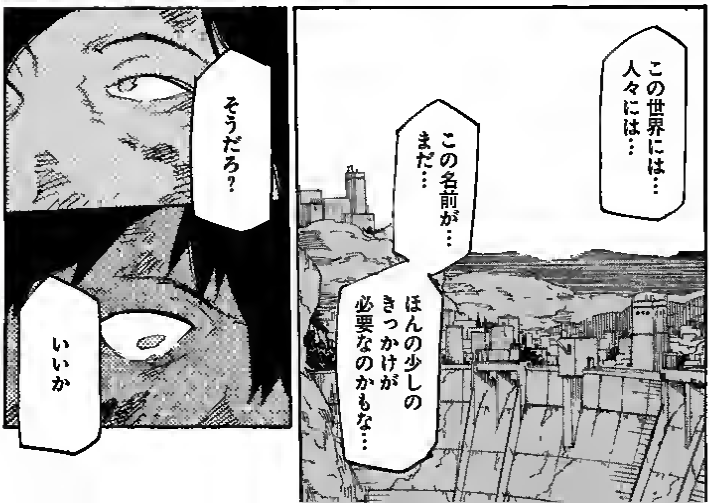
馬鹿が!!
隊から離れるなと
言っただろう!!
あれだけの
混戦だ…
仕方もないか…
…ごめん
しかし
それも
もう終わる
え?



勝闘(かちどき)をあげろ!!
…リュウマさんあんたやっぱ
本物の
リュウマかもな

気にすんな
血を流したのは
オレだけじゃねぇ…
いいのさ

血が
なんで
血が
止まらないっ
どうして!!
どうしてオレ
なんかを…
この世界には
あんたが…
あんたはオレとは
違うのに…
同じさ
ただ
違うとしたら
この名前
ヒュ…


この世界には…
人々には…
この名前が…
まだ…
ほんの少しの
きっかけが
必要なのかもな…
そうだろ?
いいか

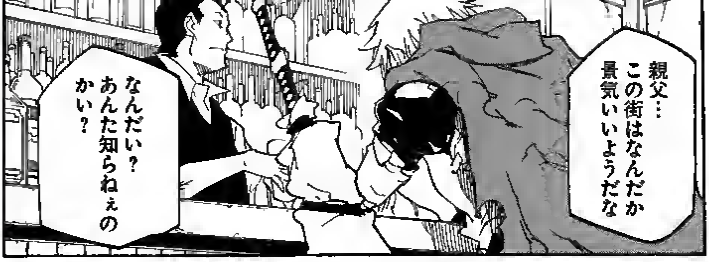
今から
お前が
リュウマだ
代わりに…
お前の名前を
もらってく
「頼んだぜ…
リュウマ」

そうして
オレは
リュウマになった
今思えば…
あの人も…
オレと同じ
ように…
いや…
それは…いい…
ただ…
オレは…
オレは…
あの人が成すはず
だったことを…
オレがやりたかった…

あの人のように
ﾋｭｳﾏ
戦えてたか？
ﾋｭｳﾏ
オレにとってあんたは…
紛れもなく
リュウマ
その人だったよ

聞いたか!?
またあの男が
現われたってよ
馬鹿げた話さ
オレのジィさんの
代からある話だぜ
違うね！
銀髪で細身で
氷の目をもった
男さ
実は
軍事皇国の
第二皇子だって
聞いたけど？

なんでも
失われた文明の
秘薬を使ってるとか
とりあえず
間違いないのは
ベモスの街は
奴のおかげで
救われたって事さ
オレが聞いた話じゃ
絶世の美女ってのも
あるくらいさ
北の帝都と国交を
築いたって話も
あるくらいだぜ
なんにしても
これだけの
ウワサや通り名が
違う人間ってのは…
一体……


親父…
この街はなんだか
景気いいようだな
なんだい？
あんた知らねぇの
かい？

この間 あの
リュウマが
現われたんだよ
あのオトギ話は
本当だったんだぜ

第1話／完

食料だ!!
女をよこせ
物資を
よこせ!!
食料を
よこせ!!
【第2話】
よこせ!!
っ…
お前らが
こそこそ
隠してる
あれ!!

よこっ
[第2話]

ア
かつて

世界を救った
男の物語が
あった
現存する中で
最も有名な
英雄譚
す…すげえ…
モービルを
一刀両断…
本当かよ…
本当に…
あの男
あの…
しかし
その大昔の御伽話は
ありとあらゆる諸説
尾ヒレが付き 真偽の程は
定かでなくなった
あの…
なのに
その男は名乗ったのだ

自分はあの御伽話なのだと
リュウマだと
すげぇ…
っ……
くぉの!!
たわけ者共がぁ!!!

今まさに白皮共の脅威に晒されていると言うのに!!
何故人同士が争い合っている!!
馬鹿共が!!
目を覚まさんか!!
なんだあ〜いきなり現われて説教くれやがって
こんな時代だから人が争うんだろ!?
ボケがあ

まったく…
ミキ…
口で言っても
わからんなら
……
これしか
ないのう……
御伽話でも
なんでもない…

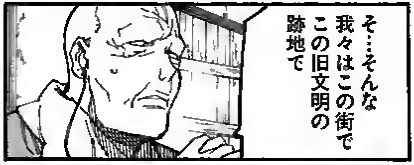
リュウマが
やって来たんだ
まったく…
極端だねぇ…
ありがたいけど…
これだけ続くのも
不安になるねぇ…
どこ
行くんだい？
リュウマん
とこ!!
長老と
話してるって!!
やめときな
邪魔に
なるよ
大人しく
してるって!!

まったく
リュウマ
ねぇ…
ないない！
絶対ニセモノ！

でも実際
その男を見た奴は
信じ始めてるって
言うじゃないか…
あの賊共のモービルを
両断したとか
聞かされちゃうとね…
実際
尋常じゃない
目つきだったって…
声だって…
すごい圧力を
感じたぜ？
ありえねえよ
オレのジイさんの代でも
御伽話だった奴だぜ？
でもよ
大戦前にゃ
不老不死の秘薬が
あったってのも
有名な話だろ？
……
申し訳ない…
皆
急な話で
戸惑って
いまして…

それで先ほどの白皮の話……
本当なのですか？
ああ…全て真実だ
この近辺の街がいくつも立て続けに襲われている
連絡が途絶えた街があったはずだ
この地の上位種…白皮……
蛭なのだろ？
…はいしかしこの数年現われもしなかった…
おそらくこの長雨のせいだろう
ここ数ヶ月で急激に変化した気候
不吉の予兆…

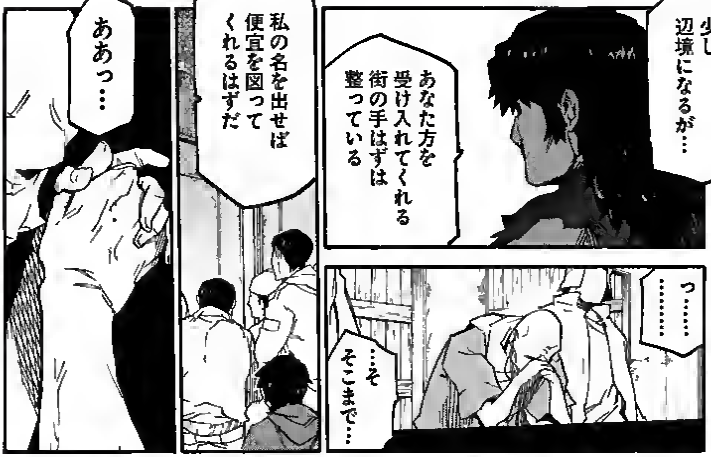
何にしても…
この街は今…
窮地に
立たされている…

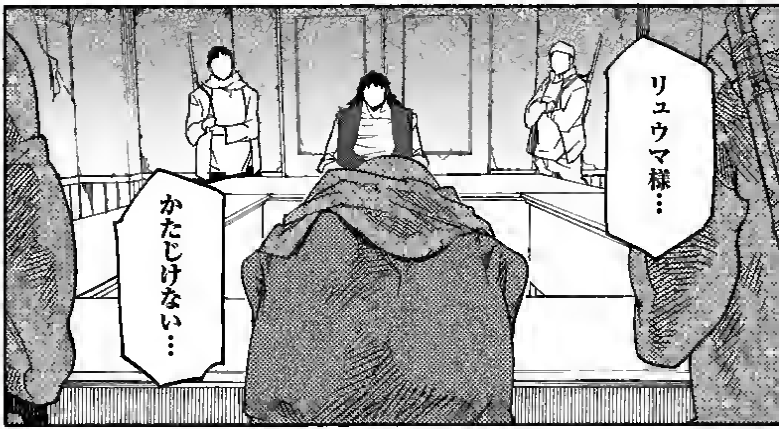

そ…そんな
我々はこの街で
この旧文明の
跡地で

今すぐにでも
避難すべきだ

文明を掘り返し
復元し…
輸出することで
生活しています
それを
おいそれと…
捨てる訳には…

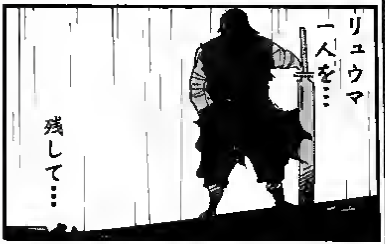
いや…それ以前に
どこに我々は
逃げれば…
ここから東に
100km程…


少し辺境になるが…
あなた方を受け入れてくれる街の手はずは整っている
っ……
……
…そこまで…
私の名を出せば便宜を図ってくれるはずだ
ああっ…

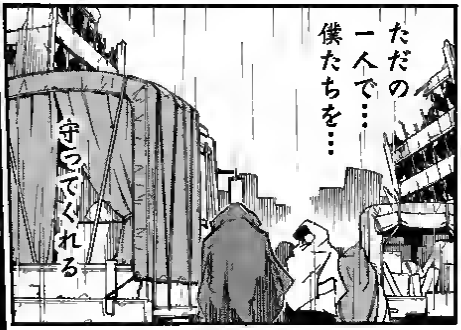

リュウマ様…
かたじけない…

僕たちは街を
出る事になった

白皮という化け物が
現われた今
しかたのないことだった…


リュウマ
一人を…
残して…

僕たちが安全な所まで
逃げてる間…彼が
たった一人で白皮を
引きつけてくれるのだ…


ただの
一人で…
僕たちを…
守ってくれる

守ってくれる

って誰が
守るか
ばぁぁか!!
だあっははは
ちょろいちょろいぜ
まったく!!
うまく
いきましたね!!
素晴らしい
演技力っスよボス!!
素敵です
ボス!!
これで この街の
ロストテクノロジー
その資産は全て
オレ様の物って
わけだ!!
あいつら
何気に街の守り
固かったスからねぇ
まったくだ!!
それが
リュウマの
名前出した途端
コロリだ!!

全くリュウマ様々だな!!
さあ!
さっさとかっさらいにいくぞ!!
取りあえずぶっこ抜けばいいんだろ
そういや親分あの基板とか扱えるんスか?
あれ?
なんだ…あんたら
全部ウソだったんだ?
なっ!!
なんだてめえっ!!
いつの間に!!
いやあ…偶然ってすごいいや 怖いなぁ
何が怖いって…
どっこぃしょ
あんたがリュウマってこと以外…

全部
当たってんだけど

あんたら わざわざ
街路を潰して
白皮を演出してた
みたいだけど
本当に他所の街は
白皮の脅威に
晒されてたわけだ
まぁ おかげさんで
街の人達を
説得する手間は
省けたよ

ほら…オレってあんたと違って華奢じゃん…
信じてもらえるか不安でさ

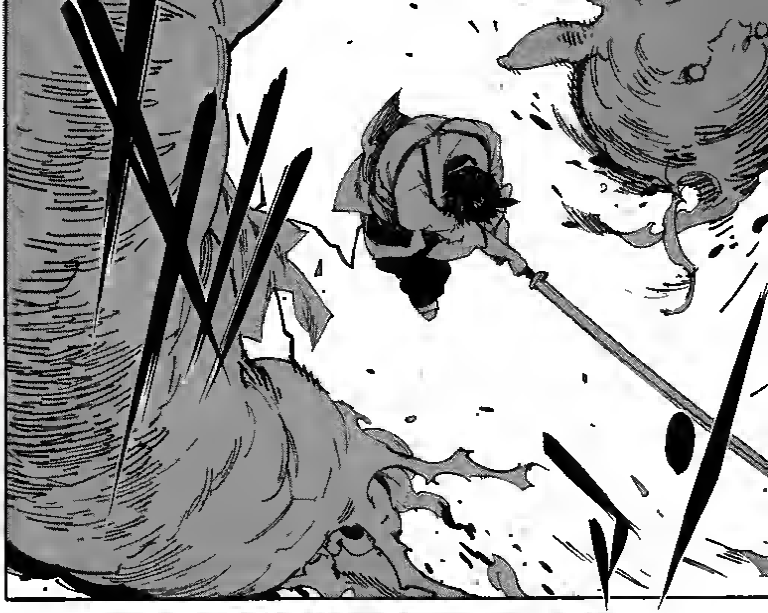
オレがリュウマだと
な 何がリュウマだ!!
あんな下らねえ御伽話!!
んな事よりあんた言ったよな

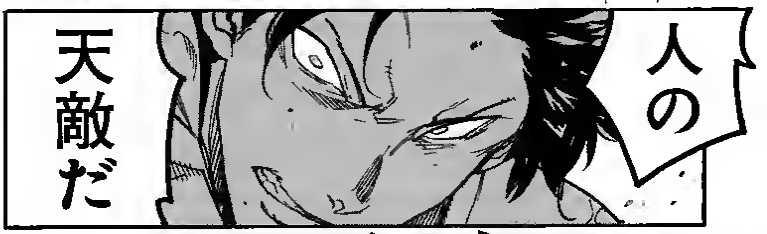
あの人達が逃げ切るまで
しんがりを…白皮を引きつけるって

こんな化け物相手にんな事するわけねぇだろ!!
なんだよびびってんの?
カチン
あ?
おい!
!!

おい 気をつけろよ いきなり死ぬんじゃねぇぜ
たっぷりと引きつけなきゃいけねぇんだぜ
ひっ
う…うわっ
わっボス!?
きゃあああ
なんだよ聞いてねぇよこんな化け物!!
ひ…

白皮…本能と意志
その両方で人を襲う化け物




人の
天敵だ

うっわぁぁ
なんだ
その剣は
飾りかぁ？
うぐっ
まぁ飾りか
レプリカ…
この…

物欲し竿の
人造妖刀
リュウマ
本物の
本物……
……
まさか…
本当に…
関係ねぇんだよ
オレは…
こんなのに
巻き込むんじゃ
ねぇよ…

なんなんだよ…
っ……

こんなの付き合って…られる…
わけねぇ
……
メリッ
キッ
ジャ…
ジャ…
ジャ…
あ…
ぁ…
ジャ
ジャ
ジャ
ジャ
ジャ
ジャ

まあ…
よく頑張った方
だろ…
これだけやれば
充分に囮に
なったはずだ…
……
さすがに…
まあ…
そりゃ…
逃げるわな…
くっ
まだ…
生きてるか？
お前ら
……
はぁ、
はぁ、

疲れたぜ
ハァ…
なあ？
リュウマ…
ギ
キ

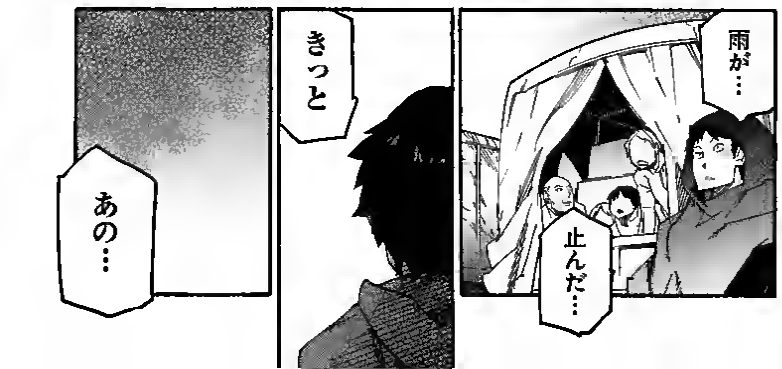
ふ…
ふ…
ふざけんなよ!!
なんなんだよあんたは!!

いきなり
現われていきなり
身体張って!!
リュウマだか
なんだか
知らねぇが!
あんな街の
連中守って
何になるって
てんだ!!
わかって
ないねぇ
お前さんは…
ちょっボス
暴れ
ないで
おん!?
あの人達の…
失われた文明を
復元する力…
その技術
こそが
受け継がれて
いくべきだと
思わないか?
今…
この時だから
こそ

……
わかんねぇ…
んだよそれ
……
ところで街の連中を受け入れてくれるって話さあれもやっぱりウソなのかい？
ったりめぇだろポケがあ!!
ああ…だろうね…
オレに受け入れてくれそうな伝手があるちょっと手伝ってくれ
何い!?なんでオレ様がそんな…
そんなことしなきゃかは分かるよな？
わかった!!わかったよ!!
くそが!!こんな奴助けるんじゃなかったぜ!!
ふ
何がおかしい!!
お前さん…頭は悪いが存外いい奴なのかもな
あぁっ!?
それに
あの街に…いた少年…

あの少年の中に
残るリュウマが
お前さんって
いうのも…

悪くないと
思ってな…


雨が…
止んだ…
きっと
あの…

第2話／完

[第3話]

おい！
どうなんだ？
もうとっくに
戻って来ても
いい頃だろ
件（くだん）の
リュウマがいる
っていう
調査団だろ？
おい！そこの
薄汚いの！
それやるから
失せろ！
せっかく
飲みに来たのに
台無しだろう
が!!
おいおい
それくらいに
しとけよ
おい！
誰か！
調査団の続報
知ってる奴
いねえか？
っと…

ジンの
話をよ

あんたも
聞きたいのかい？

……

おいおい…
なんだよ
この空気は

よせよ せっかく
リュウマの話
しに来たのに…
おい…
んあ
なんだよ？

！

なんだい

胸くそが
わりぃこと
ふいてんじゃ
ねぇぞ!!
!?てめえ!!
今 何つった!!
おい!!
ゼクッ
ジンが…

何なのか
誰か知ってる
のか?
災厄の名?
…
不吉の
象徴?
なんだそれ?
結局何も
分かってねぇのと
同じじゃねぇか
ぞわ…
っ……
ただ一つ
分かってることと
言えば

かつて
リュウマが

そのワケが
分からない
ジンから

世界を救った
ってこと

だが このくそったれな世界は

未だに
健在ってこと
だけだ

……

だったら
知るべきだろ

ジンを

それに
これは

さっきも話題に
あがってた
王室付きの調査団

あんたが聞きたがってたその続報だ
隊長!!
まだなんですかいその…

リュウマ殿に救われた街ってのは…

地図的にはもうすぐのはずだ

「リュウマ」によって…
一度は……

救われた街

……
うわ…ダムの防壁が破られてる
こりゃひでぇ…
うわー

しかしその後…
再び白皮…その蟲種によって滅ぼされた…
本当に憶えておられませんか？

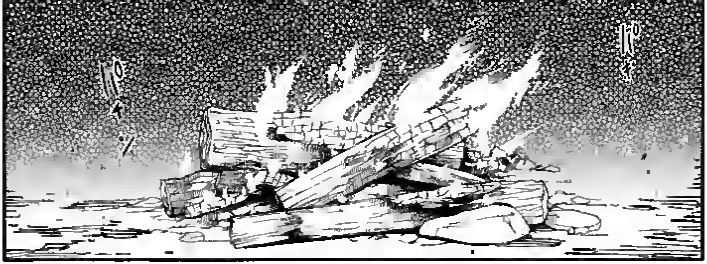
残念ながら……
リュウマ様
憶えちゃいないな
ジャリ
……

半世紀程前なんですよね？
その長刀を持ったリュウマが現われたってのは…
隊長はあいつが幾つに見えます？
……どういう意味だ副長
半世紀前……ねぇ…
とてもリュウマとは思えないってことですよ!!
若すぎだってのの!!
バカモノよさないか!!
しかしですよ隊長…
ちょっ
んだあ？
ジジ…

リュウマ…
様…
はっ
動くな

白皮!!
そのまま伏せてろ
ひっ
ガチャ

この腕同様
私の生きた時代
には多くの技術が
存在していた
のでね
外見など なんの
根拠にもならないと
理解してもらいたい
そして無用な
詮索もやめて
頂きたいな
……
はい


パチ
パチ

先ほどの蟲がこの一帯を襲った白皮ということなのでしょう
資料とも一致しています

リュウマを名乗る東洋の出で立ちの者に一度は駆逐されていますが

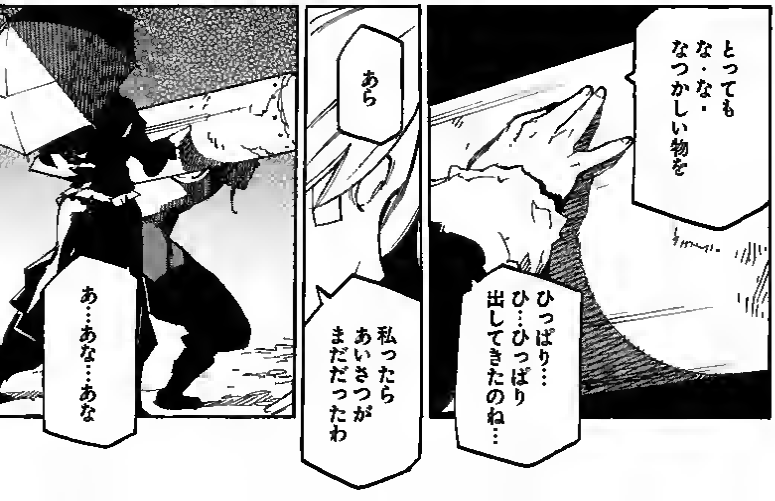
この有様を見る限り…

……
できるならここには長居しない方がいいかもしれん

……ですが
ここの空気は少々汚れすぎている…
調査を終えるまでは…

……なら
これを飲んで
休みなさい
……
ありがとう
ございます
え…
少しは
楽になる
はずだ…
あの…
リュウマ様…
……
いえ…
なんでも…
明日からも
よろしく
お願いします
ちっ

どうされました!! リュウマどの!
来るな!! 何か…
何かいる……
何かって……
リュウマさん… そこに


とっても な・な・ なつかしい物を
ひっぱり… ひ…ひっぱり 出してきたのね…
あら
私ったら あいさつが まだだったわ
あ…あな…あな

あなたとは
はじめまして
だわ
リュウマ
さん
……
何事だ!!
隊長…
それが…
少女が急に…
少女？
生き残りか!?
来るな
いや
それが…
様子がどうも…
こいつは…

ジンだ

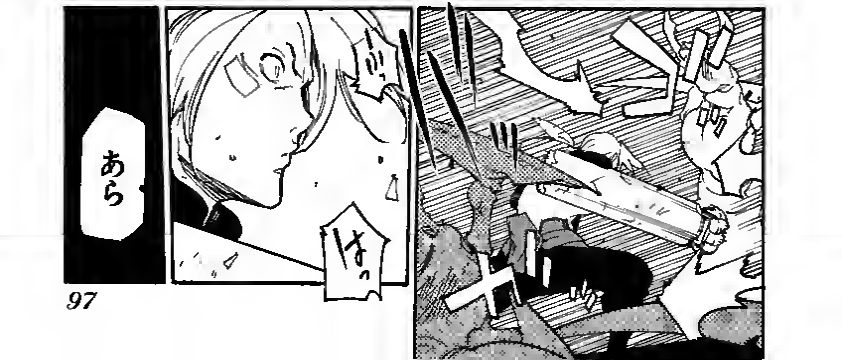
ジン？
ざく
あの…災厄の？
こんな…少女……が？
そんなことよりいいのかしら？
あなた達が今いるここって

白皮たちの
狩り場だよ？

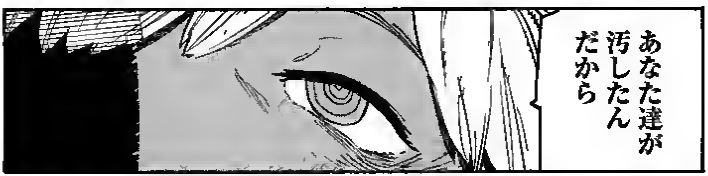
なんてぇ
数だ…
ひ…
カカカカカ
カカカカカ
ギ
あなた達って
とっても無知だと
思うの
だって
そうでしょ？
蟻の兵隊を
倒した程度で
安心しちゃって
ゴゴゴ
ミシッ
ちょっと甘く
見すぎだわ
前の時もそう
母体がいる事くらい
想像してもよさそうな
ものなのに

この子達は
あなた達の天敵なのよ
わっ
!?
うわ
うわぁ!!
!
メシ
馬鹿者
陣を崩すな!!
!!

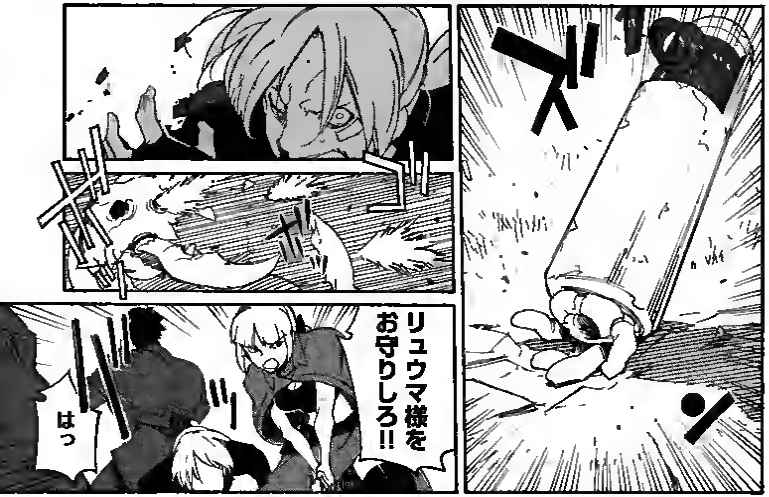
リュウマ様
次!!
来るぞ
はい
態勢を
立て直せ
!!


あら
はっ

あなたったら
とっても
息苦しそう
きっと
ここの空気が
合わないのね
でもそれって
とっても
自業自得
だって
そうでしょう


あなた達が
汚したん
だから

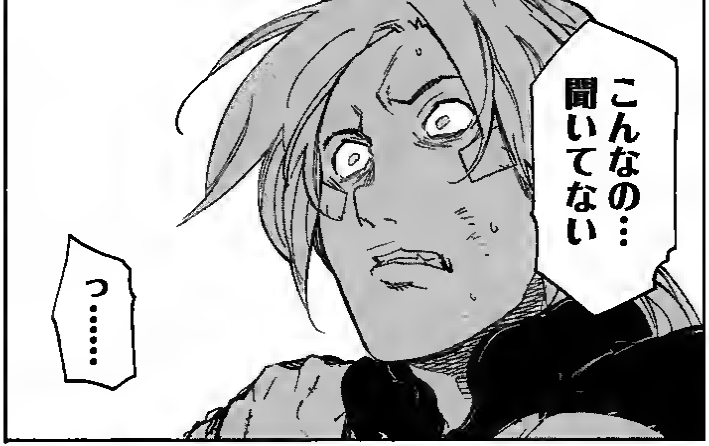
リュウマ
様!!


リュウマ様をお守りしろ!!
はっ

でもよぉ隊長…
守るって……

こんな状況で
どうしろってんだ
ガブ
カカカ
一点突破で
包囲網を
突き破る!!
なんとしても
リュウマ様を
生還させる
のだ!
うわぁあ!!

……
こんなの
オレは
こんな…
聞いてない


こんなの…
聞いてない
っ……

……

私はもう
動けん

!?
リュウマ
様…

あなたは
希望です
だから

副長!!
ここは私が
食い止める!!
!?
なんで!?
隊長 一緒に
来て下さいよ
リュウマ様を
お連れしろ!!

生きて下さい
なんでだよ隊長！
行け！
なんでこんな奴のために!!
隊長ぉ!!

なんだか
とってもつまんない
リュウマだったわ
あれなら 前の方が
いく分 マシって
ものじゃないかしら

殺せ！
今頃
死んでるはずね

殺せ!!
逃げ切れるわけないもの…
こ…
殺せ
殺して
く…
ooo

そして…その調査団は
壊滅
帰ってくることはなかった…

ははなんだそれ

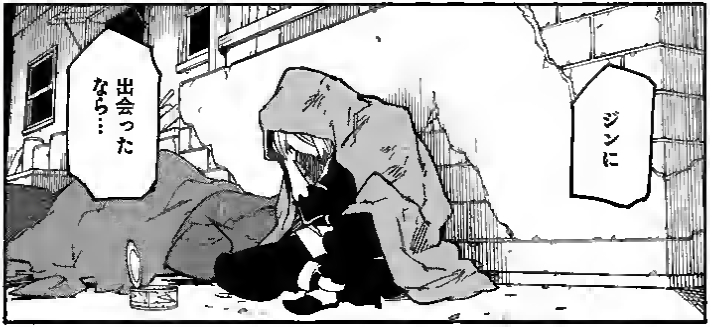
その少女ってのがその……
ジンだっていうのか？
馬鹿らしい!!なぁみんな!!

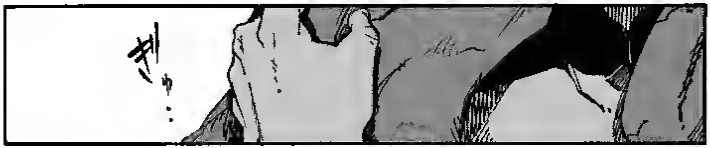
……
しーん

マジかよ
いやいや皆さんちょっと待って下さい

その話…
調査団が
壊滅したって
言うなら
誰が
伝えたって
いうんです？
あっ
そうだよ!!
それだよ
なんだやっぱ
デマかよ!!
最初から
おかしいと
思ったんだよ!!
わはははは
ちっ
勝手に
言ってろ
てめぇ
つまんねぇこと
言いやがって…
どこで聞いたんだ
その話!!
さぁな
忘れたよ

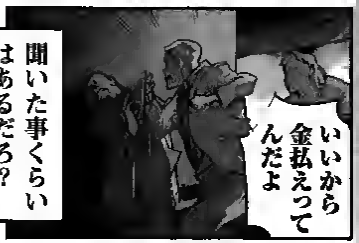
白皮に……
出会ったなら逃げろ


ジンに
出会ったなら…

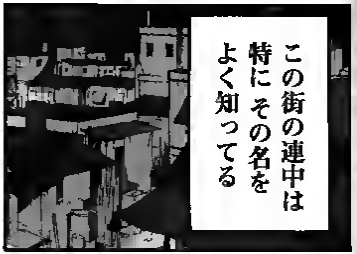

ぎゅ…

あきらめろ…
第3話／完

【第4話】



聞いた事くらい
はあるだろ？



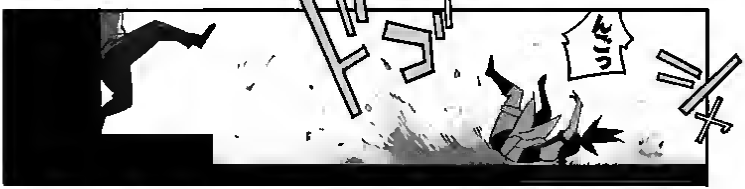
[第4話]

ボッたくられる
とも知らずに
あんな…
まったく
間の抜けた奴…
こんな店で
いや街か…
おうおう
よくもまあ
ゴトン
ガッ
ガッ
ガッ
ボッ
ボッ

そう…
いい意味でも
悪い意味でもだ
お客様
出た
当店の味が
大変気に入って
もらえたようで
別に旨くは
ないけどね
…そろそろ
お代の方を
しめて
一万九千八百

ごめん
それないや
一文も

ビキッ


ドゴ
んごっ

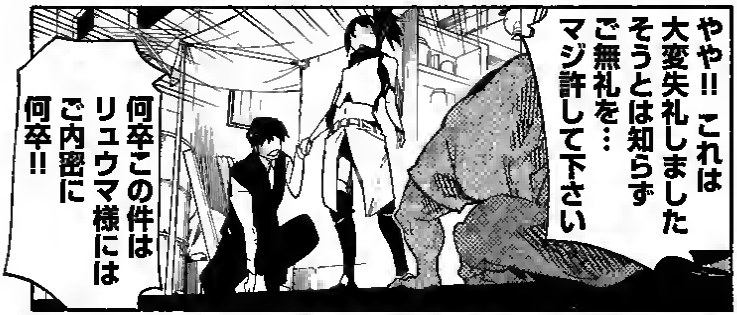
ありえねぇ
なんてぇ
図々しい
女だ

ちょっ…いきなり
足蹴とか
レディに対して
失礼な…
うぶっ

軽く十人前は平らげやがって…
どうしますこいつ？
この街じゃあスカンピンは罪人以下だ
幸い あんたは女だその身体で幾らかは稼げんだろ
…こんなゲロ女でもですかい？
おえええ
……
…世の中変態ってのはいくらでもいるもんだ
スっね
わかってるよなあんた？
あ――
身体ってそういう事か
駄目だよ

この柔肌は
リュウマの物なんだから
!?
リュウマ!?

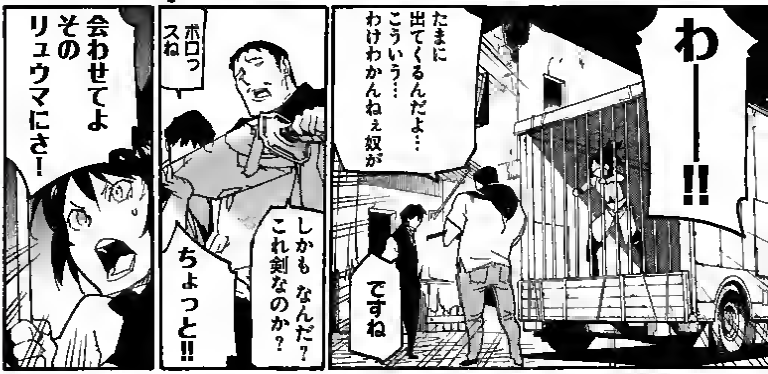
てめぇっ…いや
あなた様は
リュウマ様の
!?
あの
リュウマ様の!?
情婦なので!?
?
情婦?
こんな
薄汚いのが
…まさか?
ありえる
のか?
…あの方なら
ありえるの
かも……


やや!! これは
大変失礼しました
そうとは知らず
ご無礼を…
マジ許して下さい
何卒この件は
リュウマ様には
ご内密に
何卒!!

リュウマ!!
この街に
リュウマが
いるのか!?
え?
あの…
リュウマ様の
知り合い
なんじゃ
この街を統括
している
リュウマ様の…

いや
知らんよ

ガシャ


わ――!!
たまに
出てくるんだよ…
こういう…
わけわかんねぇ奴が
ですね
ボロっ
スね
しかも なんだ?
これ剣なのか?
ちょっと!!
会わせてよ
そのリュウマにさ!

あんた…
この街で
そんな風に
リュウマ様を
語ると
死ぬことに
なるぜ

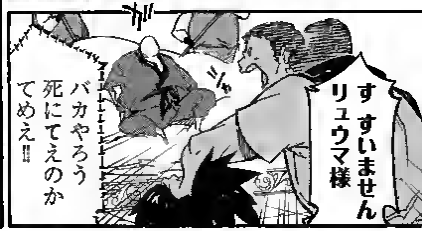
この街は
リュウマの
奴隷なのさ
奴隷？
確かに この街は
白皮(はくひ)の脅威からは
守られてはいる
それ以上は
やめといた
方が…
…そうだな
せいぜい
あんたも
かわいがって
もらうといい…
……
リュウマ様に

ワシの
リュウマの名を
汚したという
不届きものは
ふぉ
その女か？
はい 加えて
無銭飲食を
しでかして
おります

その名に
人が金が物資が
集まり続け
この強固な街を
造り上げた事は
間違いない…
しかし……
……
この方が
本物のリュウマか
どうかは
わからない
しかし
その裏では
権力を振りかざし
民衆の生き血を
啜り続け
その力に群がる
欲深な者達が
未だなお
集まり続けている…
弱者を
食い物にして…
おまえも
そういう類の
女なんだろ？
さぁ
媚を売って
みるがいいさ…
いやしい女め

おい…なんだ
このブタは
いや…ブタに失礼か…

こんな奴がリュウマなわけないだろ
こいつアホなんでその…
何かばってんだオレはこのままじゃ殺される!?
あのさ


すすいません
リュウマ様
バカやろう死にてえのかてめえ!!

リュウマってのはさ…絶対 男前だと思うんだよね
女性に対してやさしくて…
きっと少しシャイでもここぞという時は行動力があって
笑顔がステキで
そして何より…

リュウマは
私より
強い男
でなきゃ
なっ
な!!
何を
言ってんだ
お前!!
ぎゃはははは
おもしろい
よかろう!!
このワシを
試そうと
いうわけだ!!
ふはははは
良い良い!
ならば
見せて
やろう

ワシの力を

白皮……
なっ
!!
なっ
さぁ存分に味わうがいい
化け猿をも捕縛するワシの力を
そうだ
リュウマ様はこの方は

こんな化け物を捕らえる事が出来る程の
得体の知れなさがある
どれだけの人間が
ウ
この方に逆らって
リュウマの名伊達じゃあないんだよ
葬られてきたか
それなのにお前…
そんな顔してんじゃねぇよ!!
冗談じゃねぇこんな…
こんなつもりじゃなかった
っ……
くっ

リュウマ様
勘弁して
やって下さい
こんなの
寝覚めが
悪くなんだろ
あんな小娘
殺すよりも
調教して商品
とした方が
よほど利に
なるかと
それに
……
●リコンの
リュウマ様には
その方が
余程楽しめ…
キ
セ
えっ
あっ
ポーイ
ぶっ
ドシャ
ボッ
うわぁ
ああ
お お許し
を!!

ちきしょう!!
お前のせいで
オレまで!!
どうして
くれんだよ
白皮…
この子は…おそらく
完全個体ではなく
繁殖型…
群れから
はぐれた所を
捕らえられたか
まぁ
これで
ブツブツと
何言ってんだ
お前!!
どさくさに
あたしの
ケツに触るな
リュウマの物だぞ
死に物狂いで
歯向かうしか
なくなったわけだ
くっ
ふは!
特別サービス
だ

好きな得物を選ぶがいい！
！
どんな武器ならあの化け物を止められるってんだよ!!
おい！お前も選べよ!!
あたしにはもうあたしの武器があるから
!! そうか俺が取り上げた
や…ちょっと待てよ
!?
これってお前！

折れてんじゃねぇかよ!!
ひっ
馬鹿者が折れた剣など何になる
つぶれ死によったか
う…ウソだろ?お…おい
おい!

す
すげえ…
白皮…その姿は
多種多様
生態系も
生息域も全く
異なる種
なのに
この子達は
何故か共通する
白い肌を持ち
そして
悉く

圧倒的な
人類への
敵意を
持つ

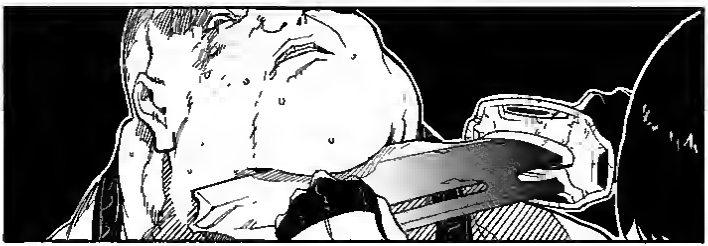
……だから
人に捕まった この子は
もう群れには
戻れない
……
だから…
この子は
ここで私が

!!
駄目だ……
なまじかな攻撃じゃ何にもなりはしない…
この死に難い身体をした
この子達には
どうしたさっきから防戦一方ではないか?
ふはは
はは
狙うべきは一つ……
しかしこうも暴れられては

だったら
これを…
!!
うぁぁ
ああ
う
やっち
まったぁ
なんて
ことを
オレは…
ひっ
助かった

ドン
やった…
やりやがった
こいつやりやがった
何者も
白皮をも
恐れず
まるでこいつ

本物の…
スリ
バカな
ありえん…
殺せ
奴らを
殺せ!!
っ…
ちょっ…
そんな…
そんなの
きいて…
おいっ
!!
え?
殺っ



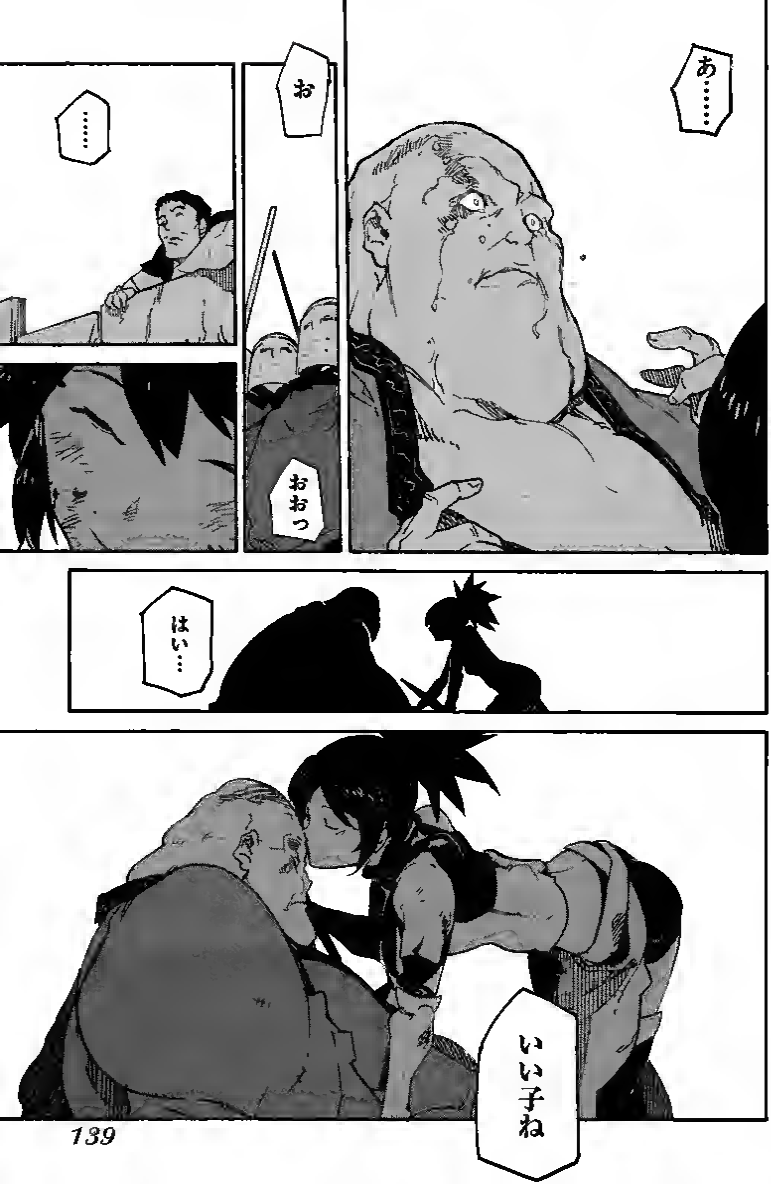
貴様
動くな!!
このっ…
…何が望みだ
動くな…
残念だけど今のあんたじゃ

望むことなんてない
リュウマを
名乗る
資格もない
待っ
その人は……
その人は!!
それでも

……
この街に
僅かに残る
リュウマの残り香
狂い始めちゃ
いるが…この街の
人々は まだ
白皮に
滅ぼされちゃ
いない
それは
あんたの
力だ
かつては
あったはずだ
リュウマとしての理想
志(こころざし)が

かつては…
お願いだから…

リュウマを
あきらめないでよ


あ……
お
……
おおっ
はい…
いい子ね

まあ また駄目だった時はさすがに
殺すから
いい男になった時は
嫁にもらわれに来るから
!
じゃ
なんてぇ女だよ…まったく…

うっぷ
あのなあ
そんなマズけりゃ
ここまで
食うんじゃねぇよ
やぁ だって
次はいつ食えるか
わかんないから
放浪の身
としてはね
……
それに
なかなか
味のある
飯では
あったよ
……
そういや
あんた…
何の為に
リュウマを
追いかけてんだい？
…そんなの
決まってる

私は
リュウマの
母親になる
女だからだよ

【第5話】

おう
おう
おう

その
身のこなしは
神速の
カマイタチ
天を裂く
その斬撃や
金色の稲光

そして
その意志は
そう
鋼鉄をも貫く
最強の槍
我こそは

[第5話]
リュウマ
なりや

いよっ
リュウマ様!!
ボス!
かっこいいよぉ!!
ふはは
最高っス
ボス
はは
ふはは…は
オレ様に
かかれば
こんな
化け物共なぞ
ちょろいもんよ…
マジ・かっけぇス
ボス
ガチで
リュウマっス
ボス
なんで
教えた通りに
できないんスか
ボス
オレが
助けなき
3度死んで
ましたよボス
突っ込むだけって
イノシシっスか
ボス
この
そして
最後に…

また大事な事忘れてない？
ゴォォ
ッッ
こっちー
こっち
ボス早く!!
!?
言いましたよね？
ここいらは超異常発達した積乱雲によって…
巨大な雹(ひょう)が降るって!!
どわっ

うっひ
し死ぬ
そして
それに伴って
ここいらの生物も
異常に固い
甲羅を持ち
地中に生息する
種が多い…と
さっき身体で
学んだばっか
でしょうが…
うるせぇ!!
ゴチャゴチャ
いっぺんに
説教くれんな!!
混乱する
だろうが!
皆さん
大丈夫ですよ

あの…
本当に助かりました
…先の白皮に飲まれた街のウワサ…
その生き残りか…
お！
何分放浪の身お礼と言ってもこのくらいしか
ああ
気にしないでください

これからこの山を越えて行くのにその食料は欠かせない
いや足りないくらいだ
そうだ私達のを分けてあげましょう
なっ
おい!!
……

…その人本当に
ザッ
あれ？
リュウマなの？
こ こら!!
あの・リュウマなの!?
もちろん
あの・
リュウマさ

一体何がしたいんだよあんたは!!

何がしたい？
なんでオレ様にリュウマを押し付ける!! 巻き込むんじゃねえよ!!
や…ボスの方がリュウマっぽいというか…ゴリラっぽいというか…
ビキ
もう限界だ…

あんたに付いていけばおいしい事になるかと思ったがそれもしまいだ!!
これっきりだ!!
ボス 晴れてきましたぜ？車だして下さいよ

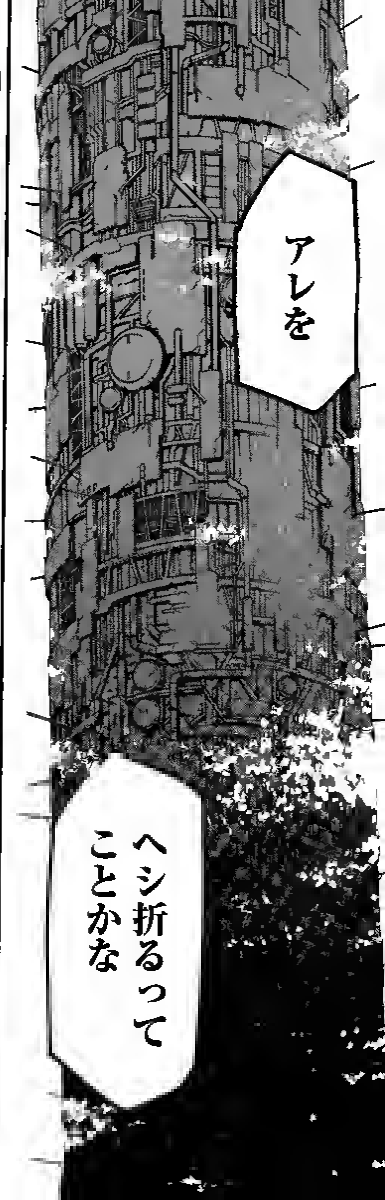
この野郎っ
やめて!!逆に殺されちゃうっ
ボス
……見えるかい？
あ？
見える？何が
見えてるだろ
ここからでもどこからでも
馬鹿程でかい
世界の枝が
で
オレが何をしたいかっていうと

まあ…他にも色々やるべき事はあるんだけど
それが一番派手な奴かな

ボス……

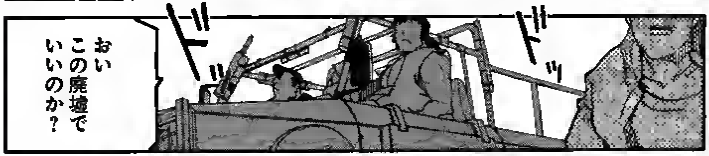
ちょっと

手伝って
く……


アレを
ヘシ折るってことかな

ドシャ
お…おい
なんだ？
手伝わねぇぞ
オレ様は
そんなの…
!?
血!?
どうした
あんた!!
予定よか
あ？
ちと
早いな
あ——
すまねぇが
……

連れて行って
ほしい所がある


おい
この廃墟で
いいのか？

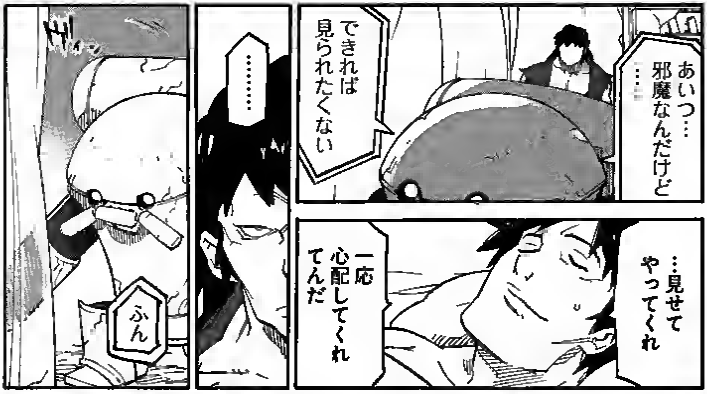
その待ち合わせ
ってのはよ
ああ
それで
あんたの仲間は
その身体
治せるのか？
多分
そのために
来てもらう
こうなるのは
分かってたからね

ボス 天候が怪しいですぜ さっさと運び込んじまいましょう
おぅ
いい所見繕ってこい

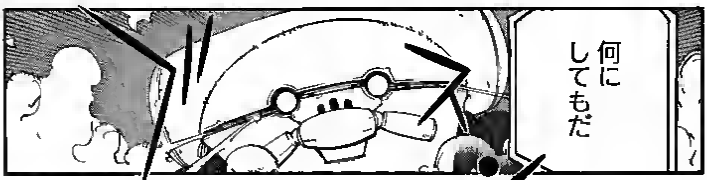
……
誰だ？
おまえ
……

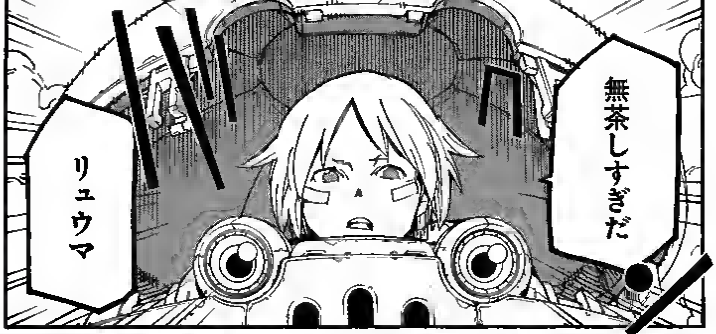
!?
おい!!
何あれ…
っ…
なん…なんだよ…
久しぶり
よう

あのさ……


あいつ…
邪魔なんだけど
……
できれば
見られたくない
……
ふん

…見せて
やってくれ
一応
心配してくれ
てんだ


何に
してもだ


無茶しすぎだ
リュウマ

!?
……
西で
大規模な
天候の変質化が進み
蛭の白皮が
目覚めたよ

いくつかの街が
喰い尽くされた
噂によれば
蟲の白皮も
活発な動きを
見せているらしい

悠長に
事を構えて
いるわけには…
ああ
ガキ？
だからって
あんただって
分かってただろ

どうにも
こいつが
欲しがる
もんでね…
……
体中の筋組織が
持っていかれ
はじめてる
……
ある程度で
でも
ある程度だ
薬で
ある程度は
抑えられる
これ以上は
手遅れになる
！
壊死は
止められない

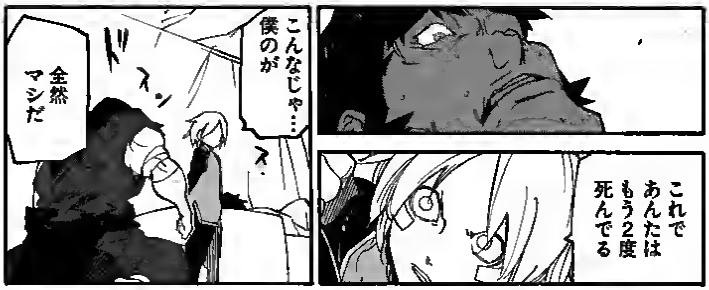
充分
……
だとしても
代わりは
見つけといた
方がいい
…ああ
ただでさえ…
何が起きるか
分からないのに…
この身体じゃ…
……
え？
まさか…
ズ
え？

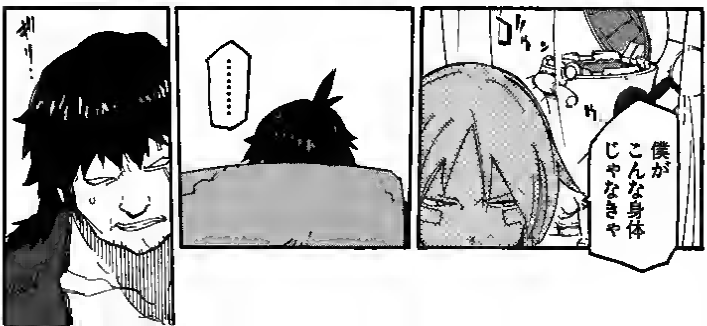
うそだ
あんなゴリラをリュウマに!?
正気かよ!!
脳まで持ってかれちゃったんじゃないよな?
っ……
馬鹿な

おい
さっきから
聞き捨てならねぇことをのたまってくれてるな

リュウマの名に興味なんざねぇが
ガキにコケにされて黙ってられる程オレ様は
悪いけど

あんたじゃ
話にならないって
言ってんの


こんなじゃ…
僕のが
全然
マシだ
これで
あんたは
もう2度
死んでる


僕が
こんな身体
じゃなきゃ
……

やってられるかボケェ
くそっ
ボス!?
逃げちゃうんスか？ボス!!
逃げちゃうかあ…
なんであんな奴なんだよ
ちょっと!!
ボスはずっと寝ずの番であんたを守ってたんだ
それでも勝てはしないかな
ポッ…
ちょ
何より
!!
そんな言い訳は意味がない
それをあんな!!
そうだ!! 本調子ならてめぇなんかに

……
バカ野郎!!
死ね!!
ボスゥ
ボスゥ
!!
意外に
人望あるだろ
ボスは…
知るか…
クズの集まりだ
あんなの

どうしようも
ない

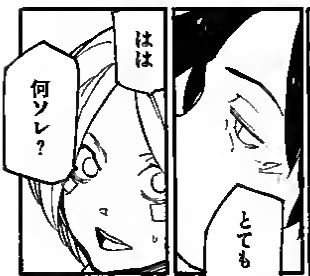
まあ…確かに
まだまだ力不足
ではあるが
力不足なんて
レベルじゃない
……
でもな
あいつは
お前が
思っている
以上に
ずっとずっと

今の万倍
駄目野郎だったんだぜ

ひどかった
ありゃあ
マジで
駄目だった
無知で
無鉄砲

プライドばっか
高くて
サル山の大将
気取りの
クソ野郎
取り柄と言えば
頑丈な事
くらいで

とても
お前の動きに
反応だけでも
出来る様な奴
じゃなかった


とても
な
はは
何ソレ？

次は
分からないって
言ってんだよ
なんせ
身体だけは
クソ頑丈な
負けず嫌いなんでな

さすがに…

首を取りに来る動きは二度見たからなぁ

くっ

この…

リュウマ

なんでオレ様にリュウマを押し付ける!!

体中の筋組織が持っていかれはじめてる

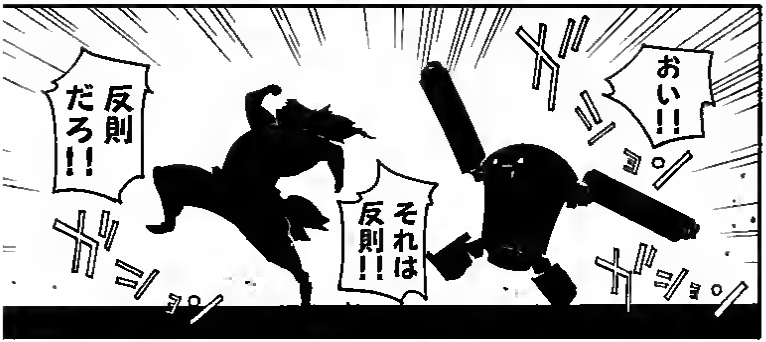
これ以上は手遅れになる

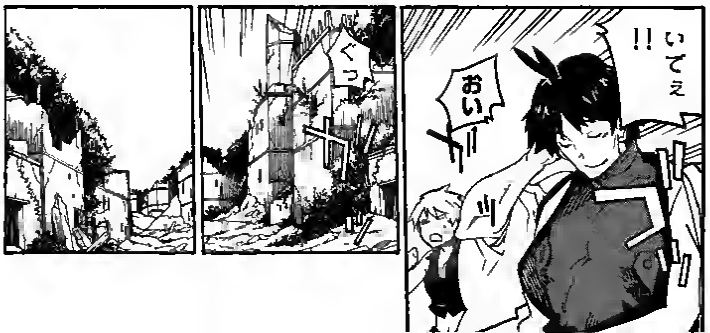
それで充分

ピキ…

く
そ
がああ
リュウマ様を
ナメんじゃねぇ!!
クソガキ!!

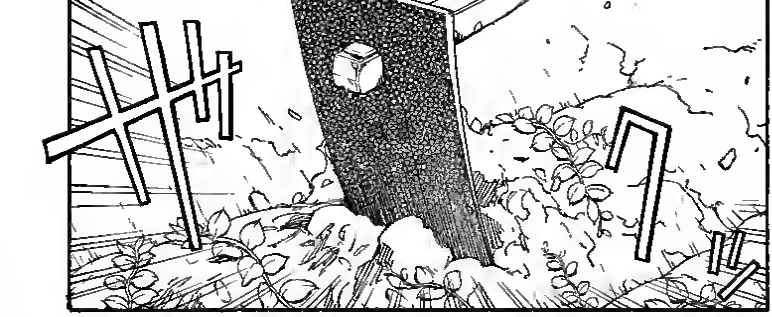
ちょう


おい!!
それは反則!!
反則だろ!!


いてぇ!!
おい
ぐっ

僕はお前を認めた訳じゃないからな
うっせ!!
用事終わったんだろさっさと帰れ
ああ!言われなくても!!
けっ!!
助かったよ
あくまで応急処置だよ
僕はすぐにでもリュウマを捜す事をおすすめするよ
そいつじゃない奴をね!!
お?
あんだとロボット!!
ああん!?

第5話／完



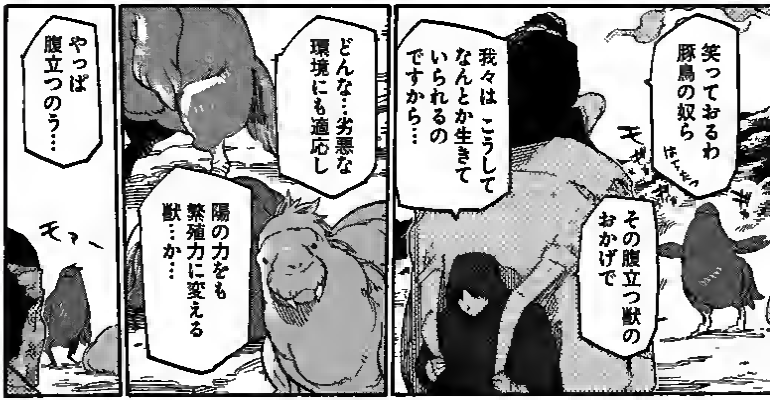
駄目だの
全く育っとらん
この高地では
土が弱すぎるの…
ふむ…

【第6話】
だから
言ったじゃ
ないですか
こういうのは
僕の方が
長けてるん
ですから
ふむ…
こんな土地で
育つのは
せいぜい

[第6話]

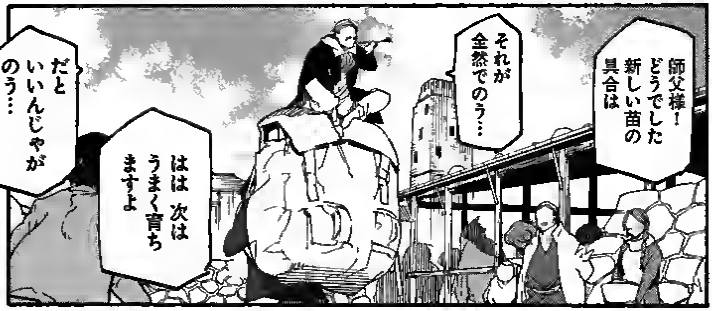
あ…
ふむ…
師父…雲があけそうです…
このぐらいにして下山りましょう
ゴゴゴ
壊れた大気はまさに天から人を引き離し
ボヤボヤしてると陽に焼かれて死にますよ
わあっとる
その昔人々は…
陽の下で日光浴というものをたしなんだという…
今じゃあ豚鳥だけの
ぜいたくとなってしまったがの
モッ
モッ

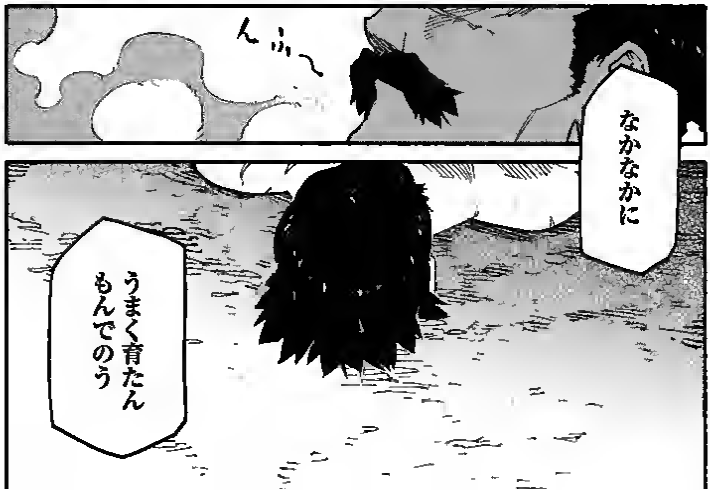
さあ我々は
雲の下に
帰りましょう
この忌まわしき
曇天が我々を
守ってくれているの
ですから
ふむ


笑っておるわ
豚鳥の奴ら
我々は こうして
なんとか生きて
いられるの
ですから…
その腹立つ獣の
おかげで
どんな…劣悪な
環境にも適応し
陽の力をも
繁殖力に変える
獣…か…
やっぱ
腹立つのう…

それでも
この集落の
いえ ここいら
一帯の…
生命線ですから

ふむ
これ今日中に
おろす奴だろ
一匹足りねぇぞ
はい
あ
師父！


師父様！
どうでした
新しい苗の
具合は
それが
全然でのう…
だと
いいんじゃが
のう…
はは 次は
うまく育ち
ますよ


ん…
なかなかに
うまく育たん
もんでのう

青二才よの…
ん…
よくもまあ
そんなで白皮と戦う
などと言えたもんよ

その白皮に
襲われた
という集落の
話…
諦めろ

リュウマ
師父!!
そんな…
何故です!!
私でなくとも
師父の力が
あれば…
ふむ…
ワシはもう
あがりを
迎えた身じゃ…
しかし!!

何より

ワシはリュウマで
いることに疲れた

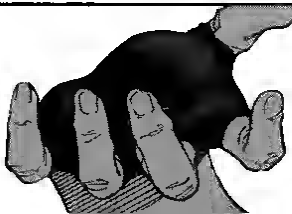
師父!!

お前は
わかっとらんのだ
リュウマでいる
ことのしんどさを

それでも
今まさに
助けを

リュウマを
求めている
人達が…

私を
リュウマに



!!
お前
白皮を甘く見とりはせんか？
リュウマを軽く見とりはせんか!?
そ…
それでも

！
私は…
それでも…
世界を
人を
救いたい!!!

ギ…
ギ…
く…ふふ
ふふっ…ふ…
ははは
ははは
ふむ

ドォン
モ
モギャ…!
かつてこの地球に
あふれかえった人間は
迎えるべくして
未曽有の
食糧難を迎えた
という

薬・人工食
代替品では補完
できないものが
あるのだという
そうして
あらゆる劣悪な環境下
でも貪欲に繁殖する
家畜を造り出した
今なお
こうして我々の
種となっている
この益獣は
生物的
観点から
見たら
我ら人間よりも
すぐれていると
言えるのかも
しれんの…
その獣
こそが
それが

今の…
白皮になったと
お考えですか？

白皮は
豚鳥や他の生物と違って
人に対して
圧倒的に敵意を
見せる

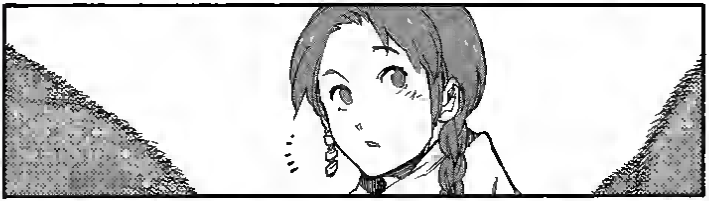
…ふむ…
わからん…

そういう説も
あるという
話じゃ
じゃが…

補食や
自己防衛と
いった
生物の本能
それとは
根本的に違う

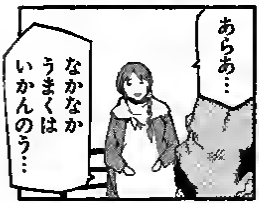
敵意を

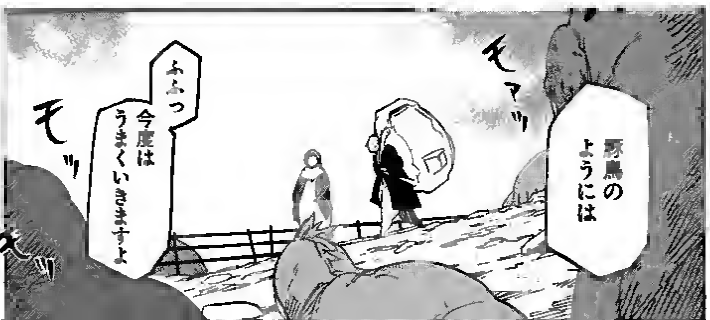
怖い
故に
気をつけろ
リュウマの
名にかけて


……

今日はどうでしたか師父！
……

しな


あらあ…
なかなかうまくはいかんのう…


豚鳥のようには
モァッ
ふふっ
今度はうまくいきますよ
モッ
モッ

何あれ…
騒がしいわね…
リュウマだって
リュウマがやって来たって
こらあんたはダメだ行っちゃ
えーなんでだ
だってリュウマだよ!?
ちょっあんた

この死体がリュウマだってのか？
リュウマ？
…この方はまさに死力を尽くして我々と戦ってくれました
この方がいなければ我々は生活の基盤を失っていたことでしょう
まさに
ブルブル…

リュウマの名に
恥じぬ生き様でした
遺品から
この土地のスートラ石
が見つかったと
きいて
せめてもの
供養にと…
あ……
あ…
どなたか…
この御方を
ご存知
ありませんか？
どなたか！
あ…
！

こんな男
知らんな
節穴か
貴様らの目は
リュウマなどと
こんなどこの
馬の骨とも知れん
男が

なんだと!!
ご老体
我々のことは
ともかく
この方を
愚弄することは
許さんぞ!!

この方は…
最期まで
最期の最期まで
我々を
こんな素性の
知れん死体なぞ
運び込みよって…
疫病でも
広がったら
どうするつもりじゃ
知るか
そうだ!!
ここの益獣が
どれだけ価値が
あるのか
わかっているのか!?
他所者が!!
そうだ
帰れ!!
出ていけ!!
燃やして
死体は
どうする
全く
厄介な
ことして
くれたぜ
捨てろ

ゴッ
ゲッ

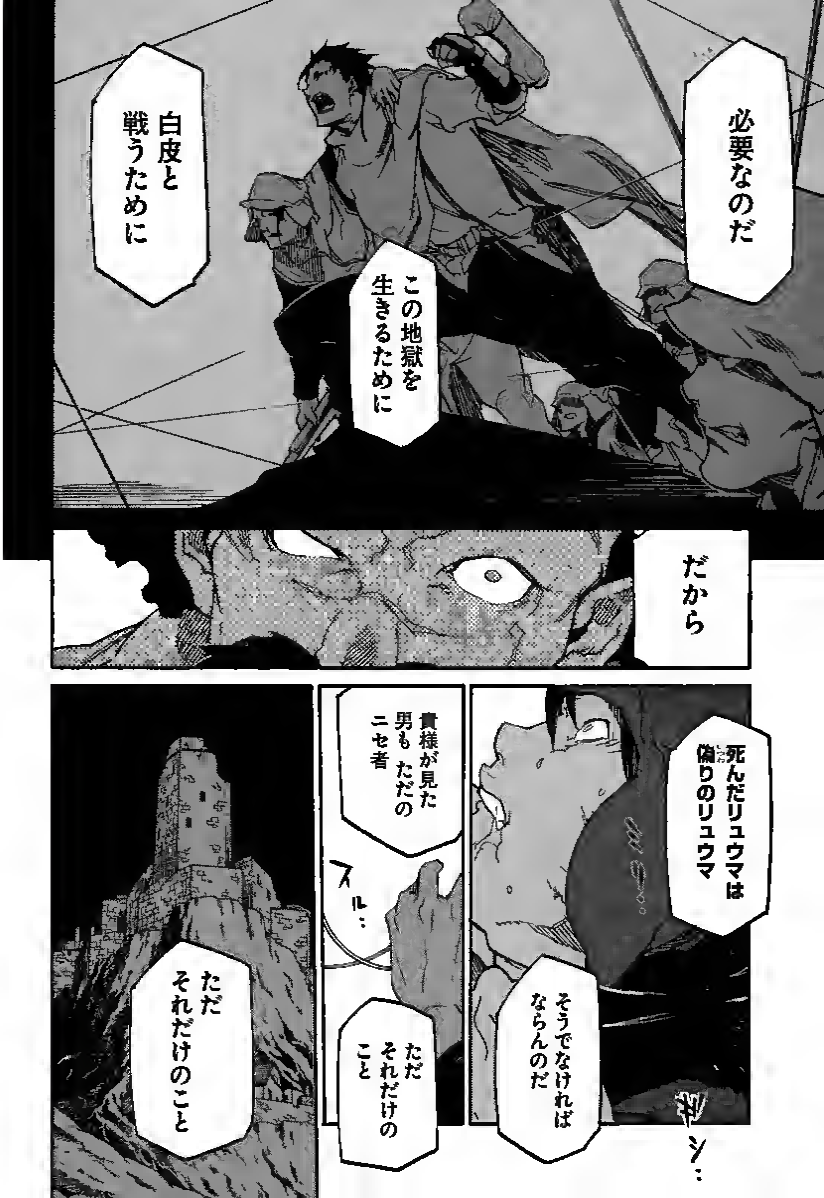
…どうなってんだ
この集落は
…
あの扱い…
惨いこと
しやがる…
とんだ
骨折り損だ
バカらしい
リュウマだなんて
オレ達は
夢でも見てたの
かもな
おい…
お前らまで
ここまでして
厄介払いされれば
そうも思っちまう
って話だよ

クソが
…
すまんが先に下山りててくれ
宿場までには追いつく
はぁ？
おい！どうした？
少しこの集落に残りたい

あの時
あの娘の反応は
明らかにリュウマ殿を知っていたのだ
何故だ
皆の反応もリュウマの名を出した途端曇ったようにも思える
何故…隠す

何故あそこまで勇猛に
果敢に戦った男を
否定するのだ
何故
この集落は一体…
称えられこそすれあのような仕打ちをうける謂れなどない
何故なら

ひゅっ
リュウマは
死ぬことを
許されない
からよ
あの…
人の…
何故
こ…この
鉄糸は…
貴様も
見たのだろ
リュウマの
戦を


必要なのだ
白皮と
戦うために
この地獄を
生きるために
だから
死んだリュウマは
偽りのリュウマ
そうでなければ
ならんのだ
ただ
それだけのこと
貴様が見た
男も ただの
ニセ者
ただ
それだけのこと

ドン
っ…
がはっ
はっ
え
消えろ
ゲフ
待っ
ハッ
帰れ
帰って…
あの男は
ただの
ニセ者だったと
伝えるが
いい
ただの
ニセ者だったと…

いいんですか？
あのまま戻して…
かまわん
それよりも
ス…
またワシの所に帰ってきたか…
まったく

いまいましい
雅号よ
呪われているのは
この名か…
馬鹿者が
貴様の死は

「リュウマのガゴウ」①／完

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

電子書籍版

リュウマのガゴウ
1

宮下裕樹

© 宮下裕樹 / 少年画報社

Digital Distributor
eBook Initiative Japan Co.,Ltd.
http://www.ebookjapan.jp